

## 上海に登場した日本流家電量販店

上海駐在員事務所

秘書 魏 小暉

昨年末に中国南京で 1 号店をオープンしたことが話題となった家電量販店のラオックスが、2012 年 5 月 25 日、中国での 2 店舗目となる「楽購仕旗艦店四川北路店（以下、ラオックス四川北路店）」を上海市内にオープンしました。2009 年、中国の蘇寧電器のラオックス買収以後、いよいよ日本式の家電販売管理モデルを採用した中国での差別化戦略が本格的にスタートしようとしています。

「ラオックス」の中国名「<sup>Le Gou Shi</sup>楽購仕」は言葉の発音が似ているだけではなく、文字通り「買物を楽しむ」という意味が含まれています。上海にオープンした「ラオックス四川北路店」では、商品ラインアップに高級品を多く取り揃えただけでなく、文房具や家庭用日用品コーナーなども設けることで、地場の家電量販店と差別化を図ろうとしています。



「ラオックス四川北路店」は上海市虹口区四川北路 888 号（海寧路交差点）にあり、すぐ近くには蘇寧電器の店舗もあります。店の看板はとても目立つように表示されており、初めて訪れる人でも分かりやすい店です。店の入口には売り場の案内図がおいてあり、自分の欲しい商品の売り場がどこにあるのが非常に分かりやすく掲載しています。また、店内に入ってみると、日本の売場のように多様な商品が見やすく陳列されており、それぞれの場所には「売場」と分かりやすく表示されています。これらのサービスは日本では当たり前ですが、中国ではあまり一般的ではないので、それだけでもサービスの良さを感じることができます。

売場の作り方にも特徴があります。従来からある中国の家電量販店では、一般的に商品種類毎の分類ではなく、メーカー別に分類されており、それぞれのメーカーの売場に複数の商品が陳列されています。例えば、台所家電の場合、台所家電が置いてあるフロアにそれぞれのメーカーが展示コーナーを設置しており、そこに同一メーカーの電子レンジ、オーブントースター、コーヒーメーカー、電気ポットなどが陳列されています。買い物客は一つの商品を買うために各メーカーの展示コーナーを回る必要があり、その度に各コーナーの担当者から商品の説明を聞くこととなります。「ラオックス四川北路店」では日本と同様に同種類の商品ごとに陳列されているため、商品間の比較がしやすく、とても選びやすくなっています。

店内には家電製品以外にも生活雑貨、キッチン用品、漫画・アニメ関連グッズ、コスメを中心としたドラッグストアまで揃っており、長年日本で生活をしてきた私は一瞬日本に戻ったようでとても懐かしい感じがしました。

店内を一周回ってみたところ、平日であるにも関わらず大変多くの人々が来店していました。特に人が多かったのは、携帯電話、パソコン、デジカメ、キッチン用品売場でした。冷蔵庫、洗濯機、テレビなどの大物家電売場は人が少なかったようですが、休日には賑わっているかもしれません。

現地メディアの報道によれば、ラオックスは年内に上海で5~8カ店オープンさせる計画とのことです。同社が持ち込んだ日本流家電販売手法が中国でも定着するのか否か今後の動向が注目されます。